



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ 上場取引所 東
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 松崎 善則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 CFO (氏名) 中澤 健夫 TEL 03-6804-2820
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	39,789	4.2	3,231	27.5	3,300	22.6	2,119	44.8
2026年3月期第1四半期	38,190	7.6	2,534	△8.4	2,690	△10.3	1,463	△17.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,093百万円(36.6%) 2026年3月期第1四半期 1,532百万円(△12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	76.78	—
2026年3月期第1四半期	53.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	70,268	41,984	59.7	1,527.48
2026年3月期	71,507	42,135	58.9	1,525.54

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 41,984百万円 2026年3月期 42,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	69.00	89.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	32.00	—	80.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、2026年10月1日を予定している持株会社体制への移行に伴う記念配当の実施を決議いたしました。これに伴い、2027年3月期の1株当たり配当予想につきましては、中間配当金：32円、期末配当金：普通配当60円、記念配当20円の計80円、年間配当金：1株につき112円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,180	1.0	10,000	9.6	10,083	8.3	6,175	1.0	224.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	30,213,676株	2026年3月期	30,213,676株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,727,696株	2026年3月期	2,593,396株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	27,605,838株	2026年3月期1Q	27,608,390株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の継続に加え、中東情勢の影響や金融資本市場の変動など、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界においては、世界情勢の変化や為替変動の影響により原材料価格や調達コストの上昇が継続しております。物価上昇を背景とした消費者の節約志向がみられる中、外出機会の増加や旅行需要の回復などにより、ファッション関連消費は底堅く推移いたしました。

このような状況の下、当社は2033年3月期を最終年度とする長期ビジョン「美しい会社ユニテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」の実現に向けて、2029年3月期を最終年度とする中期経営計画2026-2028「日本が誇る世界に向けた高感度・高付加価値グループになる」を推進しております。

本計画では、「Ⅰ. 高感度顧客満足No.1ブランドになる」、「Ⅱ. 高感度顧客を世界に広げる」、「Ⅲ. 高感度顧客との新たな接点を築く」の3つを重点方針として掲げています。

中期経営計画初年度となる2027年3月期は、「Quality First ～商品・販売・運営の質を高めて高付加価値を提供する～」を経営方針に掲げ、高感度・高付加価値戦略の実現に向けた取り組みを推進しております。

1つ目の「高感度顧客満足No.1ブランドになる」では、商品クオリティ向上を伴う高付加価値提案や新規出店・店舗改装による顧客接点の拡大に加え、商品管理基幹システム「UA3.0」を活用した在庫配分の最適化に取り組みました。その結果、既存店売上高は前年同期比105.9%、客単価は前年同期比104.5%となり堅調に推移しました。また、店舗と通販の在庫配分の適正化を進めたことで、従来発生していたネット通販における欠品や機会ロスが低減し、ネット通販既存店売上高は前年同期比113.1%と伸長、販売機会の最大化につながりました。加えて、連結体制の見直しによる収益構造の改善、売上成長および生産性向上により販管費率は46.5%と前年同期差2.1ポイント改善し、収益性向上に寄与いたしました。

2つ目の「高感度顧客を世界に広げる」では、中国および台湾を重点エリアとして事業基盤の拡大を進めました。現地顧客ニーズに対応した商品展開や店舗網を拡充していくことで、中国、台湾では売上高が前年同期を上回って推移いたしました。中国では新たに1店舗を出店し、事業基盤の拡大を進めています。今後も両地域において新規出店を含む成長投資を推進し、グローバルEC、卸の認知向上に努めることにより、海外顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

3つ目の「高感度顧客との新たな接点を築く」では、ライフスタイル領域や高価格帯領域における事業開発を推進します。既存事業とのシナジー創出および新たな顧客接点の獲得に取り組むため、アクセサリーブランド「Bijou de M」を展開する株式会社ビジュードエムの株式を譲受することについて決議いたしました。ハイエンドマーケットの新たな顧客接点獲得実現へと繋げてまいります。

また、OMO戦略および人的資本投資を重要な経営基盤と位置付け、顧客体験価値の向上、会員基盤の拡大、生産性向上に取り組むことで、中長期的な企業価値向上に向け取り組んでおります。

出退店については、トレンドマーケットで4店舗の出店、3店舗の移転、改装、ミッド・トレンドマーケットでは、2店舗の出店、1店舗の移転、改装を実施した結果、第1四半期連結累計期間末の小売り店舗数は236店舗、アウトレットを含む総店舗数は264店舗となりました。

連結子会社の状況については、台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）の増収とともに悠艾（上海）商貿有限公司（決算月：12月）も増収となり、海外における事業基盤の拡大に向けた取り組みを進めました。出退店については、台湾聯合艾諾股份有限公司は当第1四半期連結累計期間末の店舗数は14店舗、悠艾（上海）商貿有限公司は1店舗を出店し、同期間末の店舗数は2店舗となりました。

以上により、グループ全体での新規出店数は7店舗となり、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は280店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4.2%増の39,789百万円となりました。売上総利益率は前年同期差0.6ポイント減の54.6%となりましたが、売上総利益は前年同期比3.0%増の21,733百万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比0.4%減の18,502百万円、売上高構成比は前年同期差2.1ポイント減の46.5%となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は3,231百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益は3,300百万円（前年同期比22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,119百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して646百万円(1.5%)減少の43,646百万円となりました。これは、現金及び預金が568百万円、未収入金が1,197百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して592百万円(2.2%)減少の26,622百万円となりました。これは、店舗の出店や物流倉庫の設備増強などにより有形固定資産が496百万円増加した一方、無形固定資産が216百万円、繰延税金資産が822百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,210百万円(4.8%)減少の23,818百万円となりました。これは、短期借入金が3,200百万円増加した一方、未払金が1,203百万円、賞与引当金が1,793百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して123百万円(2.8%)増加の4,465百万円となりました。これは、店舗の出店により資産除去債務が111百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して151百万円(1.0%)減少の41,984百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により2,119百万円増加した一方、自己株式の取得により331百万円、配当金の支払により1,913百万円それぞれ減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2026年5月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,461	2,892
売掛金	190	182
商品	26,940	25,936
貯蔵品	498	613
未収入金	12,058	10,860
その他	1,143	3,159
流動資産合計	44,292	43,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,777	8,188
機械及び装置（純額）	1,108	1,056
土地	569	569
建設仮勘定	59	123
その他（純額）	1,399	1,472
有形固定資産合計	10,914	11,411
無形固定資産		
ソフトウェア	4,820	4,544
ソフトウェア仮勘定	60	121
その他	26	26
無形固定資産合計	4,908	4,692
投資その他の資産		
関係会社株式	199	186
長期貸付金	1,000	1,000
関係会社長期貸付金	19	22
差入保証金	6,595	6,580
繰延税金資産	2,127	1,305
その他	1,448	1,423
投資その他の資産合計	11,391	10,519
固定資産合計	27,214	26,622
資産合計	71,507	70,268
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,771	10,098
電子記録債務	1,286	265
短期借入金	1,900	5,100
未払金	5,547	4,343
未払法人税等	247	460
賞与引当金	2,528	734
役員賞与引当金	44	9
株式給付引当金	116	-
資産除去債務	129	92
その他	1,457	2,714
流動負債合計	25,028	23,818
固定負債		
資産除去債務	4,181	4,292
株式給付引当金	23	29
その他	137	143
固定負債合計	4,342	4,465
負債合計	29,371	28,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,538	4,538
利益剰余金	41,876	42,082
自己株式	△7,012	△7,343
株主資本合計	42,432	42,307
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△296	△322
その他の包括利益累計額合計	△296	△322
純資産合計	42,135	41,984
負債純資産合計	71,507	70,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	38,190	39,789
売上原価	17,087	18,055
売上総利益	21,102	21,733
販売費及び一般管理費	18,567	18,502
営業利益	2,534	3,231
営業外収益		
受取利息	0	5
為替差益	161	37
受取賃貸料	1	2
持分法による投資利益	1	-
業務受託収入	-	36
その他	20	33
営業外収益合計	185	115
営業外費用		
支払利息	6	10
賃貸費用	-	0
持分法による投資損失	-	9
その他	23	25
営業外費用合計	29	46
経常利益	2,690	3,300
特別損失		
固定資産除却損	0	44
減損損失	298	9
本社移転費用	70	-
特別損失合計	370	53
税金等調整前四半期純利益	2,320	3,246
法人税、住民税及び事業税	257	304
法人税等調整額	599	823
法人税等合計	857	1,127
四半期純利益	1,463	2,119
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,463	2,119

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,463	2,119
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	69	△26
その他の包括利益合計	69	△26
四半期包括利益	1,532	2,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,532	2,093
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,320	3,246
減価償却費	414	488
無形固定資産償却費	314	347
長期前払費用償却額	127	138
減損損失	298	9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,333	△1,793
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△34
受取利息	△0	△5
支払利息	6	10
本社移転費用	70	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,002	1,999
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,194	913
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	357	△1,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,033	△2,705
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△411	871
持分法による投資損益 (△は益)	△1	9
その他	85	△179
小計	986	2,024
利息の受取額	0	5
利息の支払額	△6	△10
本社移転費用の支払額	△124	-
法人税等の支払額	△2,350	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,494	1,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,504	△1,605
資産除去債務の履行による支出	△95	△30
無形固定資産の取得による支出	△590	△93
長期前払費用の取得による支出	△232	△209
差入保証金の差入による支出	△98	△63
差入保証金の回収による収入	430	81
関係会社長期貸付金の回収による収入	1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,088	△1,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,272	3,200
自己株式の取得による支出	-	△331
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	-	△1,668
配当金の支払額	△1,188	△1,792
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,083	△592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,508	△566
現金及び現金同等物の期首残高	6,655	3,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,146	2,878

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社グループは衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2026年7月30日付の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、下記の通り自己株式を消却することを決議いたしました。

消却に係る事項の内容

(1) 消却する株式の種類 普通株式

(2) 消却する予定の株式の数

2026年5月11日の取締役会で決議した株数 1,000,000株(上限)

(消却前の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.6%)

(3) 消却予定日 2026年9月30日